

研修会名	WISC-IVの結果解釈から支援へ —チーム学校・チーム医療での活用—		
企画委員会	教育分野委員会, 保健医療分野委員会		
企画主旨	教育現場でも、保健医療分野でも、さまざまな専門性をもつ職種がチームとなり、協働して子どもの支援を行うことが求められています。そして、チームが子どもを共通理解するための道具の1つが、WISC-IV知能検査です。WISC-IVは心理職が実施を担当することの多い検査ですので、心理職はチームの共通理解のために重要な責任を負っていると言ってよいでしょう。そこで本研修会では、WISC-IV検査結果の適切な解釈の考え方と、その結果からチーム援助を計画し実行するための考え方について、講義およびグループワークを通して学びます。		
開催日	2021年 2月 23日 (火・祝)	時間	10:30~16:30
対象者・定員	公認心理師その他心理職、 守秘義務のある専門職、 心理職を目指す大学院生 (※事務局にお問い合わせください)	定員	400名
受講料	会員:3,000円、非会員:6,000円、		
【プログラム】			
午前の部	テーマ	WISC-IV検査結果とチーム援助	
10:30~12:00	講師	石隈 利紀	
	所属	東京成徳大学	
	内容	講演	
12:00~13:00	(昼休み)		
午後の部①	テーマ	WISC-IV検査結果の解釈と代表的な支援法	
13:00~14:30	講師	大六一志	
	所属	NPO法人LD・Dyslexiaセンター	
	内容	講演	
14:30~14:45	(休憩)		
午後の部②	テーマ	検査結果を解釈し、チームを考慮しながら支援計画をたてる	
14:45~16:15	講師	石隈 利紀、大六一志	
	所属	東京成徳大学, NPO法人LD・Dyslexiaセンター	
	内容	事例に基づく解釈・支援演習(グループワーク)	
午後の部③	テーマ	質疑応答	
16:15~16:30	講師	石隈 利紀、大六一志	
	所属	東京成徳大学, NPO法人LD・Dyslexiaセンター	
	内容	質疑応答(チャットに記入された質問に回答)	

(注)本研修は日本公認心理師協会が今後認定を予定している『専門認定研修』システムにおける研修ポイントとする予定です。また、学校心理士、臨床発達心理士の研修ポイント、臨床心理士の参加者が3割以上の場合の臨床心理士研修ポイントをそれぞれ申請予定です。(公認心理師以外、対象となるのは一つの資格だけになります。)

申込方法

今回の研修会は、外部サービスを利用して受付を行います。
下記「研修会参加予約」より申してください。

研修会参加予約

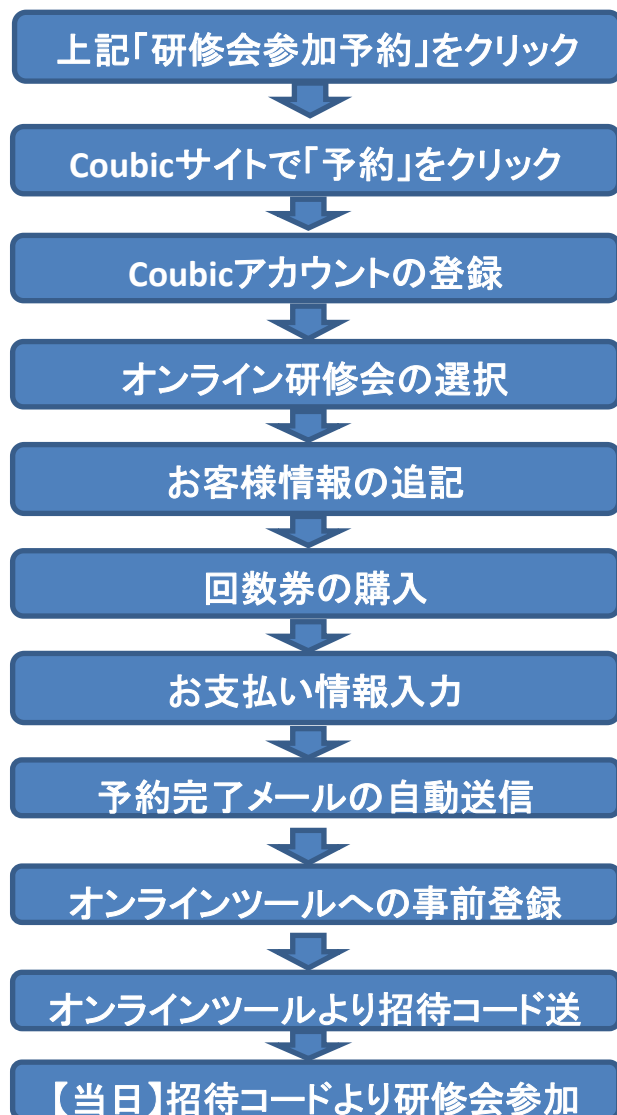
■ 申込開始

「研修会参加予約」をクリックし、Coubicサイトに移動したあと
をクリックしてください。

予約する

を

■ 受講までの流れ



注1) 当研修会参加には、Coubicアカウントの作成またはFacebookアカウントでのログインが必要です。

注2) 支払い方法は「クレジットカード」のみとなります。「クレジットカード」以外を希望される場合は、下記までご連絡ください。

kenshu-s@iacpp.or.jp